

3/4

沢石小学校「6年生を送る会」

ついて!のばして!食べて楽しい餅つき

沢石小学校・同友会（昭和42年度卒）の有志の皆さんが、「子どもたちの思い出にしてほしい」と餅つき大会を企画しました。

「6年生を送る会」の中で行われ、臼に入った餅を「ヨイショ!ヨイショ!」のかけ声で、今回のために新しく作られた子供用の杵を使いました。ついた餅はきな粉・あんこ・磯辺・くるみの4種類で味付けされ、皆で美味しくいただきました。

子どもたちからは「初めて餅つきをした」「自分でついた餅は美味しい」など楽しいひとときを過ごした声が聞かれ、企画した方々からも「自分たちも楽しくできた」と笑顔あふれるひとときとなりました。



「ヨイショ!」のかけ声で餅をつく子どもたち

6年生の感想

佐久間結花さん

生まれて初めてもちつきをして楽しかったし、おいしかったです。地域の方々との絆も深まったと思いました。貴重な体験ができてよかったです。

渡辺彬仁さん

小学生になってからは初めてのもちつきだったので、とても楽しかったです。今回のもちつきを通して、地域の方々に支えられているという思いが深まりました。

飛田冬愛さん

地域の方々とおもちつきをやりました。杵が思ったより重かったし、機械でつくよりものびがよいし、おいしいし、楽しかったので、またやりたいです。

佐久間悠翔さん

初めての体験でとても楽しかったです。杵は思ったより重くて少し難しかったです。地域の方々との絆がすごく深まりました。

橋本湊人さん

もちをついた時は、杵がかなり重くて大変だったけれど、もちを食べたらがんばって良かったなと思いました。このような体験をさせていただき、地域のみなさん、ありがとうございました。



出来上がった餅を美味しくいただきました!

3/10

三春駒 3DCG コンテスト

受賞作品等の詳しくは、町HPをご覧ください。



伝統工芸×テクノロジーで描く、郷土玩具の新たな可能性

町と国際アート&デザイン大学校は、令和8年の午年に合わせて「三春駒」をテーマにした3DCGコンテストを開催しました。学生たちは伝統工芸に斬新なアイデアを加え、メカニカルな進化やモダンなデザインなど多彩な作品を制作いただき、お城インスタグラマーKAORI様、高柴デコ屋敷の彦治民芸様、大黒屋様に審査いただきました。

町ではこれからも、伝統を大切にしながら新たな可能性を追求し、郷土文化を未来へ継承していく取組みを進めてまいります。

▶受賞作品(敬称略)



受賞された国際アート&デザイン大学校の皆さん



最優秀賞
石本聖奈「眠る駒」



A&D賞
高橋美羽「三春駒箸置き」



三春町賞
島本晴希「三春駒のスプリング遊具」



彦治民芸賞
安孫子陽斗「三春ゴマシーン」



大黒屋賞
安達一矢「三春-黒曜の面」